

家庭教育 なう vol.9



2021年10月発行
 恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 嶋倉
 〒509-7203 恵那市長島町正家後田1067-71

TEL 0573-26-1111 〈内線209〉
 FAX 0573-25-7129
 Mail shimakura-shinzo@pref.gifu.lg.jp



ひよこクラブの様子(5月)

参加親子は年間1392人!

精華交流センターを訪問し、令和2年度の実践資料を見て驚きました。乳幼児期を対象とした家庭教育学級や子育てサロンなど、13講座82回開催され、延べ392人の親子が参加しているのです。多治見市の中心市街地に位置するセンターですので、希望者が多いことは予想できますが、オンラインしている講座はどれもほぼ定員いっぱいです。ニーズを的確にとらえた運営が利用者が高い評価を得ているものと思われます。どんな秘密があるのでしょうか?

精華交流センター(多治見市)の取組がすごい!

乳幼児期の家庭教育学級は年齢に応じて3コース(対象はそれぞれ、たまご116か月〜1歳、ひよこ1〜2歳、バンビ2〜3歳)設定され、それぞれ定員20組の講座が前後期の2回開催されています。つまり年間120組の親子が参加可能となっています。

「乳幼児クラブ」後期クラス

親子で楽しい時間をすごしませんか?
 音楽あそび、運動あそび、季節の制作あそびなど年齢別に楽しみます。絵写し・子ども親士の交流もでき、お友だち作りにもピッタリです。

学年	対象	日程
ひよこ	[対 象] 0歳児~1歳児と保護者 (2歳2か~R2.4.1生まれ) [対 応] 11.5・19・12.3・1.21・2.4・18 (全曜日・全0回)	
バンビ	[対 象] 1歳児~2歳児と保護者 (H31.4.2~R2.4.1生まれ) [対 応] 11.11・12.5・12.9・1.13・27・2.10 (木曜日・全0回)	
バンビ	[対 象] 2歳児~3歳児と保護者 (H30.4.2~H31.4.1生まれ) [対 応] 11.4・18・12.2・1.20・2.3・17 (火曜日・全6回)	

毎 週:10:30~11:15
 場 所:大ホール
 参加費:1家族500円 (お母さんお父さんお兄さんお姉さん)
 定 員:各クラス20組
 申込期:9月30日(水)9時
 申込先:福祉交流センター 電話25-1533
 ※申し込みについて
 ・参加申し込みは、0時から18時、受付が18時以降は受付不可。
 ・窓口のみ参加は申し込みを2週間前までにお願いします。
© 2021 東濃地区子育て・親育ち通信 事務局

乳幼児クラブ募集のチラシ

ターゲットは乳幼児



見知らぬ土地で初めて子育てをする保護者も多いでしょう。孤立した子育てとなりがちな保護者にとって、これだけ手厚い乳幼児学級が設定してあるのは心強いです。特に、産後間もない乳児対象の「たまごクラブ」の存在は大きいといえます。

コロナ対策も工夫されています。どうしても乳幼児の活動は、三密になりやすいので、定員を減らさないように活動場所を遊戯室から大ホール(換気しながら空調できる良さもある)に移動、「消毒セット」を準備し、利用前後に消毒をして不安を少しでも軽減しようとする取組にも積極的です。ともすると、「コロナだから中止」としてしまいそうですが、可能な日程に講座を再設定するなど、できない理由を探さず、「どうしたら活動できるか工夫する」というスタンスで対応されていることには頭が下がります。

令和3年度前期

ひよこクラブ

音楽遊び、制作遊び、運動遊びを通じて親子で楽しい時間を過ごしましょう。

No.	日	時間	内容	参加費
1	5/13	10:30~11:15	自己紹介の制作遊び	汚れてもよい服装
2	5/27	10:30~11:15	おやき作り	動きやすい服装
3	6/10	10:30~11:15	季節の動物あそび	汚れてもよい服装
4	6/24	10:30~11:15	リズムあそび	動きやすい服装
5	7/8	10:30~11:15	リトミック	動きやすい服装
6	9/9	10:30~11:15	秋たのしみ会	動きやすい服装

【申込】全日程 木曜日
 【対象】H31年4月2日~R2年4月1日生
 【会場】大ホール(1階)
 【開場】10:30~11:15
 *各回ともお子様に必要な物をお持ちください。
 *活動内容は予定ですので、都合により変更する場合があります。ご了承ください。

【お知らせとお問い合わせ】
 *午前の時点で情報が発表されている場合は、先輩センターは一日休校となります。
 *ひよこクラブは雨天決まりです。
 *駐車場スペースには限りがあるため、できる限り乗り合わせ等の協力をお願いします。
 *当日お申し込みの滞りには十分注意をお願いします。
 *お申し込みの際はお子様の名前をお知らせください。

※天候などによる行事の中止や延期は、ホームページから確認できます。
<http://www.tamago-bunko.or.jp/naika/> ※QRコード

精華交流センター 0572-25-1111

【ひよこクラブ】R3前期 精華交流センター申込書

ふりがな	性別	生年月日	No.
子ども氏名	男・女	年 月 日	
ふりがな		兄弟の村番	あり or なし
保護者氏名		年齢	
住 所		電話番号	

活動中の写真撮影・掲載はよろしいでしょうか? はい いいえ 撮影等費 0円~20円のみ OK
 お子様がアレルギーをお持ちでしたらお書きください。
 申し込み あり () 参加費 ¥500

備 考

乳幼児クラス(ひよこクラブ)の申込書

おしゃべりサロン

ぺたぺたおえかき

おえかき
きのこのこ

10月5日(火)

足型を使ってオリジナル作品を作
作品は、精華交流センター内に展示

次回予定

1月25日(火)

時間：10:30~11:30
 ところ：研修室
 対象：未就園児と保護者
 参加費：無料
 持ち物：汚れても良い服・水分・タオル
 申込み：9月22日(水)9時より窓口
 10時より電話にて
 問合せ：精華交流センター ☎25-1533

すくすくスクール

おかあさんと いっしょに遊ぼう!

10月8日
 11月12日
 12月10日
 1月14日
 3月11日 (金曜日・全5回)

リトミックや知育遊び
 ベビー英語など
 楽しい時間をすごしましょう!

時間：①10:00~10:45 ※②③合同の場合は
 ②11:00~11:45 10:30~11:15

ところ：大ホール
 講師：スマイルキッズ・リトミック
 参加費：2,500円
 対象：①H31.4.2~R2.4.1生まれの子と保護者
 ②H30.4.2~H31.4.1生まれの子と保護者
 定員：各20組
 持ち物：水分補給のための飲み物
 申込み：9月14日(火)9時より窓口にて
 10時より電話にて
 問合せ：精華交流センター ☎25-1533

サロン型の取組も
 充実しています
 (上下：センター発行のチラシ)

すくすくスクール

キッズピクスで 体を動かそう

リズムに合わせて、親子で体を動かそう

10月20日
 11月17日
 12月15日
 1月19日
 2月16日 (水曜日・全5回)

時間：10:30~11:15
 ところ：大ホール
 講師：尾尾尚美さん
 参加費：2,500円
 対象：H30.4.2~R2.4.1生まれの子と保護者
 定員：20組
 持ち物：水分補給のための飲み物
 申込み：9月21日(火)9時より窓口にて
 10時より電話にて
 問合せ：精華交流センター ☎25-1533

すくすくスクール

チャレンジダンス

ダンスや体操でのびのびと体を動かそう☆
 お友だちと一緒に楽しみましょう!

10月26日
 11月30日
 12月21日
 1月25日
 2月22日 (火曜日・全5回)

時間：15:15~16:00
 ところ：大ホール
 講師：岡田真依さん
 参加費：2,500円
 対象：園児(年中・年長)
 定員：20名程度
 持ち物：水分補給のための飲み物
 申込み：9月27日(月)9時より窓口にて
 10時より電話にて
 問合せ：精華交流センター ☎25-1533

交流センターとは

精華交流センターは、多治見市文化振興事業団が多治見市から指定管理者の指定を受けて、管理運営を担っています。それまでの精華公民館に、近隣にあった児童館の機能を統合した複合施設として令和2年度に供用を始めました。公民館と児童館の両方の特性を活かし、乳幼児から年配の方までが一緒に集うことのできる施設です。多治見市の児童館では、①未就園児と保護者、②小学生児童、③多世代、④中高生ボランティア、⑤相談の5つを運営の柱にしています。こういった運営の柱に基づく様々な取り組みが交流センターという複合施設で展開されることで、「子どもの居場所」が広がりをみせています。

乳幼児期のサロンも充実

多治見市は「親育ち4・3・6・3たじみプラン」として学校などだけでなく、公民館等でも家庭教育支援を進めています。このセンターでもそれを受けて工夫して取り組むとともに、自主事業にも積極的に取り組んでいます。その中でも特に、乳幼児期の親子を対象とする事業の充実には目を見張ります。とても多くのサロンやスクールが準備しており、それぞれ未就園児、年中年長児などと細かく対象を絞り込んであります(写真左・上のチラシ参照)。チラシを見ているだけでワクワクしてきます。

8月末に取材に訪問しましたが、コロナ緊急事態対応中で、事業はほぼストップでした。セクターの河村所長のお話が印象的でした。「今はマスクをしながらの子育て。乳幼児がマスクを外した表情のある人を見て泣いてしまうことがあって衝撃だった。一方、ボランティアで来てくれる中高生の力は私たちの想像を超えて、すごい活躍をしてくれる。交流センターが子育て、親育ちの拠点としてこれからも工夫を重ねていきたい。」

コロナが心配だからと言っても、子育てはストップできません。支援を必要としている保護者には、交流センターや公民館が間違った重要な場所であることは

精華交流センターから学ぶ



おかあさんといっしょに遊ぼうの様子(5月)

家庭教育「なう」 バックナンバー

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/15928.html>

